

「模擬ディベート」

模擬ディベート 論題 「 高校の図書館にマンガをおくべきである。 」

肯 定 立 論	<p>これから肯定側の立論を行います。</p> <p>第1の根拠は、図書館に行く生徒が増えることです。高校生の活字離れは深刻な問題です。この一年で一度も図書館に行ったことがない生徒も、マンガがあれば図書館へ行くのではないのでしょうか</p> <p>第2の根拠は、最近のマンガには学習の参考になるマンガも多いということです。横山光輝さんの「項羽と劉邦」で漢文に興味を持ったという友だちもいます。苦手な人には無理に読書を勧めるよりも、マンガから始める方が効果的ではないのでしょうか。</p> <p>以上で肯定側立論を終わります。</p>
否 定 質 疑	<p>それでは、否定側より質問をお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> マンガを読みに行く図書館へ行く生徒が、読書のために図書館へ行くようになるのですか？</p> <p><input type="checkbox"/> そういう人もいないのでしょうか？</p> <p><input type="checkbox"/> それは確かですか？</p> <p><input type="checkbox"/> では次の質問です。図書館におくマンガは学習の参考になるマンガだけですか？</p> <p><input type="checkbox"/> いえ、そうではありません。</p> <p><input type="checkbox"/> では、図書館でマンガを読んでも、それから勉強の興味につながらない人もいますね？</p> <p><input type="checkbox"/> はい。</p> <p>以上で質疑を終わります。</p>
否 定 立 論	<p>それでは、否定側の立論をお願いします。</p> <p>これから否定側の立論を始めます。</p> <p>マンガをおくべきでない第1の根拠は、マンガと活字の書物は違うものだということです。マンガは絵でイメージするもので、文字からイメージをふくらませる書物とは全く別のものであり、図書館におくべきものではないと考えます。</p> <p>第2の根拠は、内容的に不適切なマンガがおかれる可能性があるということです。図書館の司書の先生はマンガの研究をされていません。図書館には司書の先生がいらっしゃり、図書館におくべき本そうでない本の選別をします。しかし、マンガを専門に研究していないのですから、どのマンガを入れるべきかの判断は出来ないはずで。</p> <p>以上で否定側の立論を終わります。</p>
肯 定 質 疑	<p>それでは、肯定側より質問をお願いします。</p> <p><input type="checkbox"/> マンガの中にもセリフやト書きなど、活字の部分がありますね。</p> <p><input type="checkbox"/> はいあります。</p> <p><input type="checkbox"/> その部分からはイメージは全くわからないのですか？</p> <p><input type="checkbox"/> わいても少しだと思います。</p> <p><input type="checkbox"/> すこしでもわくのですね？</p> <p><input type="checkbox"/> はい。</p> <p><input type="checkbox"/> はい、次の質問に行きます。</p> <p>司書の先生は、全くマンガを読んだことがないのでしょうか？</p> <p><input type="checkbox"/> わかりません。</p> <p><input type="checkbox"/> 読めば、善し悪しはわかるのではないのでしょうか？</p> <p><input type="checkbox"/> わかると思います。</p> <p><input type="checkbox"/> 以上で質疑を終わります。</p>

否定側反駁	<p>それでは、否定側から反駁をお願いします。</p> <p>否定側の反駁を始めます。</p> <p>先ほど肯定側より、「セリフやト書きからもイメージはわく」という質問がありましたが、マンガの中のセリフやト書きは絵を見ながら読むことを前提としたものです。やはり、活字のみの書物とは全く別のものであると思います。</p> <p>また、図書館の歴史の中でマンガの歴史はごくわずかです。図書館学という学問もあり、活字の書籍に関して十分な研究をされてきた司書の先生だからといって、研究自体が十分になされていないマンガを、現時点で学校の図書館に置くのはやはり問題があると思います。</p> <p>以上で否定側反駁を終わります。</p>
肯定側反駁	<p>次に、肯定側の反駁をお願いします。</p> <p>否定側の反駁を始めます。</p> <p>まず、図書館へ行くことにつながるかどうかという否定側からの質問ですが、図書館離れが深刻な問題とされている現在、たとえ少数でもマンガがあるなら図書館へ行こうか、と考える生徒がいるならば、図書館にマンガを置くメリットはあると考えます。勉強の興味に対しても同じくことが言え、確かにマンガを読んでも勉強の興味につながる人は多くないかもしれませんが、少しでもそういう生徒が期待できるなら、マンガを置くことに問題はないと思います。</p> <p>以上で肯定側の反駁を終わります。</p>
否定側最終弁論	<p>それでは、否定側の最終弁論をお願いします。</p> <p>まず、肯定側はマンガを読みに図書館に足を運ぶ人が少しでも増えれば、と言いましたが、マンガ目当ての人が増えても、それは図書館の本来の目的にはつながりません。やはり、図書館は活字の書物を読む人のための施設で、そのような人を増やすために工夫すべき施設ではないでしょうか？</p> <p>また、肯定側は勉強の参考になると言いましたが、中には誤解を与えるマンガや不適切な内容のマンガもあり、それをしっかりとチェックできる専門家は本校にはいません。したがって、肯定側の根拠の2番目については、逆に悪影響が出る可能性もあります。</p> <p>以上から、本校の図書館にマンガをおくべきではないと考えます。</p>
肯定側最終弁論	<p>それでは、肯定側の最終弁論をお願いします。</p> <p>まず、否定側は絵を見ながら活字を読むことと、活字のみの書物を読むことは別だと言いました。しかし、活字だけの書物を読むことが苦手な人にとっては、絵を参考にしながらでも活字を読むことは大切なことです。さらに、学習マンガのように、活字の多いマンガや原典に忠実なマンガもあります。したがって、否定側の、別のものであるという主張は成り立ちません。</p> <p>また、有害なマンガもありますが、現在、高い評価を得ているマンガもたくさんあります。確かにマンガの研究はまだまだ十分ではないですが、すでに始まっています。評価を得ているマンガから図書館におくようにすれば悪影響はありません。</p> <p>以上から、本校の図書館にマンガをおくべきだと考えます。</p>